

令和元年度在宅療養連携会議 第2回全体会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年（2019年）7月23日（火）19時00分～20時00分
- 2 開催場所 ウェルシティ市民プラザ3階 保健所第1研修室
- 3 出席者 【構成員】千場 純、磯崎 哲男、西山 和彦、岩澤 孝昌、川田 啓子、
富岡 敏也、松尾 透江、大澤 愛子、諏訪部 弘之、亀田 浩司、
斉藤 かがり、高田 千春、佐野 美智子、高橋 伸宏、
山本 恵子、神崎 由美子、橋本 健司、小貫 朗子、
田中 知己、渡邊 久美子（敬称略、名簿順）
【オブザーバー】ハートケア湘南芦名 山中 香
横須賀共済病院 金井 枝美
横須賀市健康福祉財団 小澤 充
横須賀市社会福祉協議会 稲葉 抄子
福祉部介護保険課 鈴木 享（敬称略）
【事務局】健康部地域医療推進課 竹本 豊、小知和 千弘、白石 貴宏
【傍聴者】1名
- 4 開 会 座長の司会で開会した。
- 5 オブザーバーの紹介、傍聴者・配布資料の確認
事務局から、欠席者の報告、オブザーバーの紹介、傍聴人数の報告、および配布資料の確認を行った。

〔資料一覧〕

次第

- 資料1-1 （仮称）地域包括ケアフォーラム開催要領（案）
- 資料1-2 （仮称）地域包括ケアフォーラム参加希望確認状況
- 資料2-1 2019年度多職種合同研修会参加者数
- 資料2-2 2019年度多職種合同研修会アンケート集計結果
- 資料3-1 令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー企画書
- 資料3-2 令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー基礎講座アンケート集計結果
- 資料4 令和元年度在宅医療・介護連携推進事業進捗状況
- 資料5-1 令和元年度病院在宅療養出前セミナー企画書
- 資料5-2 令和元年度病院在宅療養出前セミナーチラシ（案）
- 資料6-1 令和元年度在宅医同行研修企画書
- 資料6-2 令和元年度在宅医同行研修チラシ
- 資料7 令和元年度ブロック連携拠点事業実績
- 報告資料1 横須賀市福祉部高齢福祉課「第3回認知症フェスタ in 神奈川歯科大学」チラシ

6 議 題

(1) 各専門部会からの報告

① 広報啓発検討専門部会（Aチーム）

「(仮称) 地域包括ケアフォーラム」について、千場部会長から、資料1に基づいて報告された。

〔説明要旨〕

過去に実施した在宅介護の見本市を参考に、専門部会の中で意見を出し合い、資料1-1の実施要領案を作成した。全体会では、案の内容を確定してよろしいか、承認をいただきたい。

日時、時間帯等は、実施要領案のとおりである。資料1-2に現在の参加希望団体が一覧にされており、現時点で合計22団体確認されている。併せて確認をお願いしたい。

今後の予定は、同時開催の生涯現役フォーラムのチラシ内容が7月中旬に確定する。概略を合わせて載せたいので、内容の確定を急ぐ必要がある。地域包括ケアフォーラムは、8月中旬にチラシ内容の確定、9月上旬にはチラシ印刷、10月上旬には配布する予定である。

〔質問、意見等〕

座 長：多くの団体が入っているが、教室などの会場のスペース的には問題ないか。

事務局：これから内容の調整に入るところだが、調整方法は今後、Aチームで検討していただきたい。スペースが限られているため、その中で調整させていただきたい。

座 長：一覧に記載されていない団体も、出展希望の可能性がある場合は、今この段階で立候補していただいた方が良くかもしれない。

事務局：議題にもなっているので、希望がある場合は、後ほどその中でお知らせいただければと思う。

諏訪部：生涯現役フォーラムと地域包括ケアフォーラムの開催日である11月16日に、主任ケアマネジャーの研修があるが、県立保健福祉大学で300人のケアマネジャーが出席する。同日にそのスペースはあるのか、また把握はされているか。

事務局：教室棟（入って左手）の方を使用されるのであれば、フォーラムはどちらも管理棟のみを使用するため、入って右手の方になる。図書館や講堂、体育館の方までをフォーラムとして使用する予定である。教室棟の方は、一切使用しない予定である。

講堂と2階の大会議室、中会議室、小会議室と体育館までを使用する。大会議室を中心にブース出展、セミナーを行い、体育館も一部使用する予定である。

諏訪部：3つの大きな催しが重なってしまう。

事務局：逆に集客が図られて、ありがたいかもしれない。開催時間はわかるか。

諏訪部：フォーラムとほぼ同じ時間で、9時～16時30分頃までであったと思う。300名の主任ケアマネジャーが受講する予定である。

事務局：いろいろな教室で受講するのか。

諏訪部：そうである。

事務局：フォーラムの方にもお越しいただければありがたい。

諏訪部：承知していただければ、大丈夫だと思う。

事務局：今まで承知していなかったもので、申し訳ない。

座 長：たしかに、いろいろなところが同時開催だと盛り上がるかもしれない。地域包括ケアフォーラムは、後ほど議題として扱う。

② 連携手法検討部会（Bチーム）

磯崎部会長から、資料２－１ 「令和元年度多職種合同研修会報告資料（参加者人数）」、資料２－２ 「令和元年度多職種合同研修会報告資料（アンケート集計結果）」に基づいて報告された。

〔説明要旨〕

「よこすかエチケット集」の見直しをテーマに、6月21日（木）19：00～21：00 に多職種合同研修会をワールドカフェ方式で開催した。

最終参加者は、170人であった。資料２－１に参加者の内訳があるが、例年同様、ケアマネジャーが多く、歯科医師が少なかった。

資料２－１のアンケート集計結果は、87%の方から回答が得られ、満足度は高かったようである。連携に関しても、「連携が進んでいるかわからない」という回答が減ってきており、多職種連携が進んできているのではないかと思う。

現在、グループワークの意見をBチームで検討し、よこすかエチケット集の改訂版を作成中である。

③ 研修・セミナー検討専門部会（Cチーム）

諏訪部部会長から、資料３－１「令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー企画書」、資料３－２「令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー基礎講座アンケート結果」に基づいて説明があり、特に異議なく承認された。

〔説明要旨〕

i ケアマネジャーのための在宅療養セミナートピック講座について【資料３－１】

今年度の企画について、検討を行った。

内容としては、「ケアマネジャーを対象に市民の在宅療養を支援するために必要な医療知識を学ぶセミナーを開催する」とこととしている。主催は横須賀市で、共催は横須賀市健康福祉財団、企画はCチームで行っている。

年度計画として、基礎講座とトピック講座全3回を企画しており、第1回は「障害福祉サービス」、第2回は「医療制度」、第3回は「ターミナル期の支援について」として、すでに講師等の調整を行っている。

第1回のテーマは、介護保険制度ではないか、65歳前後で障害者と高齢者の間で課題が出ている。横須賀市福祉部障害福祉課の深井様、横須賀市健康福祉財団の平田様に講師をお願いしている。

第2回のテーマは、医療のトピック研修というところで、医療制度そのものについて知識を深めたいという要望があった。講師は、在宅療養連携会議構成員でもある、横須賀市立うわまち病院の神崎様にお願いをしている。

第3回は、例年要望がある「ターミナル期の支援について」で、来年1月に開催予定である。

講師は、横須賀共済病院の精神看護専門看護師（通称：リエゾンナース）に依頼予定で、調整中である。

基礎講座は、6月27日（木）に実施した。56名が参加し、うち7名は横須賀市外からの参加であった。資料3-2にアンケートの集計結果をまとめている。新任や初任者を対象にしているが、リピーターも多く、マンネリ化しているという意見もあった。基礎講座なので、1つのご意見として把握している。

ii 介護職のための在宅療養セミナーについて

資料の添付はない。ケアマネジャーや訪問介護をしているヘルパーを対象としている、在宅療養セミナーがある。横須賀市健康福祉財団が主催で、Cチームで助言をしている。

第1回は、AED講習を予定している。昨年も実施しており、横須賀市消防局救急課の職員に講師を依頼している。

第2回は、「利用者からの暴力・暴言への対処方法」について研修を開催予定である。国立久里浜医療センターの看護師で、「包括的暴力防止プログラム（CVPPP）」のインストラクターに講師を依頼する予定である。

あと1回、介護職対象の研修枠があるため、Cチームの中でも企画、検討を進めていきたい。

iii かかりつけ医セミナーについて

「かかりつけ医セミナー」という研修枠もあるので、Cチームの中でも企画、検討を進めていく予定である。

（2）令和元年度在宅医療・介護連携推進事業捗状況報告

専門部会が関わっている事業以外の事業進捗について、事務局から、資料4に基づいて各種事業実施状況について説明を行い、特に異議なく承認された。

〔説明要旨〕

① 病院職員対象在宅療養出前セミナー（資料5-1、5-2）

昨年度に引き続きの事業になる。今年度も医師会から9名の先生に講師として、ご協力いただいている。7月上旬に周知を開始し、市内11の病院にチラシの配布を行った。7月9日現在、1件（うわまち病院）のお申込みをいただいている。

参考資料として、資料5-1は企画書、資料5-2はチラシ案を添付している。

② 在宅医同行研修（資料6-1、6-2）

今年度も医師会から12名の先生に指導医として、協力いただくことになった。7月上旬に周知を開始し、7月9日現在、7件のお申込みをいただいている。申込者の職種の内訳は、全て薬剤師である。順次、指導医と調整させていただいている。

参考資料として、資料6-1、6-2として、企画書とチラシを付けている。

③ まちづくり出前トーク

市の職員が申込者のもとへ伺って話をする「出前トーク」については、7月9日までに4団体で実施し、63名の参加があった。加えて今後、2件を予定している。

④ 令和元年度 第1回在宅医療・救急医療連携検討会

在宅で最期まで療養することを希望している患者が急変した際に、本人の意思に沿わない救急搬送がされないよう、関係職種間で連携体制を構築する目的で検討会を開催している。

令和元年度第1回の検討会は、7月2日に横須賀市医師会館で開催し、構成員として、在宅医、病院救急医療担当医師、警察、横須賀市消防局からご参加いただいた。

今後も引き続き、在宅医療と救急医療の連携について、意見交換を進めていく予定である。

⑤ 令和元年度在宅療養ブロック連携拠点事業進捗状況（資料7）

在宅療養ブロック連携拠点事業進捗状況については、資料7に令和元年度の各ブロック拠点の活動についてまとめている。

（3）（仮称）地域包括ケアフォーラムについて

事務局から資料1-1、資料1-2をもとに説明を行い、改めて出展希望について確認をした。出展希望は、7月末までにとりまとめ、8月後半に全体で説明会を開催する予定である。

名称は、案のとおりとし、各出展希望団体とは、事務局が詳細の調整をすることで承認された。

〔説明要旨〕

先ほどの各専門部会からの報告で、広報啓発検討部会・Aチームから、地域包括ケアフォーラムについて、検討された内容の報告がされた。第2回全体会議の前に、構成員が所属している団体を中心に、6月18日～7月18日の期間で、参加内容アンケート調査をした。参加希望がある団体のみ、回答いただく形とした。

そのアンケート結果で、参加希望の各団体とその参加方法について、資料1-2で一覧にまとめている。

今後は、参加表明のあった各団体の担当者と事務局の間で、出展内容について調整を行ってよろしいか、この場で承認をいただきたい。また、こちらの一覧にない団体についても、この場で参加希望をいただけたら、詳細の調整を進めて行きたいと考えている。

資料の訂正について、資料1-1内の表現で「人生の最後」とあるが、「人生の最期」に訂正をお願いしたい。また、資料1-2出展希望団体の6番目、団体名が正しくはカッコ書き内の「横須賀市居宅介護支援事業所」であり、その前の事業所名は連絡先であるので訂正をお願いしたい。

〔質問、意見等〕

座 長：一覧にある参加希望団体以外は、持ち帰って協議をしたが参加しないという結論なのか、それとも、もともと協議をする場がなかったものなのか。

松 尾：この場で報告するものだと思っていた。横須賀市介護老人保健施設連絡会でも参加したい。ブース出展による各施設のパンフレット配架、有志による相談コーナーを設けたいと考えている。

磯 崎：小磯診療所でも、在宅医療の概略を紹介するブース出展を希望する。どの程度の広さになるのか。

事務局：出展団体の数にもよるので、出展団体数を取りまとめて各ブース配置を決めて行くことになる。想定では、長机1つ分程度と思われる。仕切りやパネルの使用やその枚数についても、各団体との調整になる。

岩 澤：セミナーで、心不全の患者に対して、心不全に関する病態と注意していただきたい生活習慣、エンドオブライフやアドバンスケアプランニングを含めたセミナーにしたいと考えている。患者向けなのか、医療職・福祉職向けなのか、内容が異なってくると思うが、別個に開催して良いのか、一緒に開催して良いのか。また、人数と尺についても確認をしたい。また、ある程度、セミナーの内容が決まった際に、患者にも来ていただきたいが、どのようにコマーシャルして良いのか。

事務局：(周知については)チラシを作成する。生涯現役フォーラムと同時開催なので、相互に同じようにチラシを作成するので、2倍の効果を発揮できたと思う。病院の方でも患者やその家族に周知を積極的にしてもらえるのはありがたい。来場者は一般市民となるので、広く市民向けの内容としてもらえるとありがたい。

会場は、広めの大会議室をブース展示とセミナー会場で分ける予定である。ブース展示が想定より多いため、会場前の広めの通路でブース展示も予定している。イメージがなかなか難しいと思うので、8月下旬に出展団体を集めた説明会を設けることを考えている。この後のAチームでその辺りを決めたいと考えている。8月中にはある程度、形にしていきたい。

高 田：横須賀地区栄養士連絡協議会では、ブース出展希望で、嚥下調整食の試食体験ができるような企画をしている。会場のスペース的な問題、飲食ができるのか、少額の飲食費をいただいて良いのか、確認をしたい。

事務局：細かい内容がはっきりしておらず申し訳ない。県立保健福祉大学には食堂があり、昨年は認知症カフェを実施していた。横須賀地区栄養士連絡協議会は、食堂のイメージがある。別団体もカフェのようなもので出展予定である。その中で、セミナーや相談会などができたら良いと考えている。そうすると、時間も割と余裕をもってできていると思っている。

事務局：皆さまに全体像が伝えにくく、申し訳ないと感じている。県立保健福祉大学には管理棟があり、1階の講堂やその前のスペースなどを主に生涯現役フォーラムが使用する。2階の会議室やその前の通路を主に専有して使用できる。

食堂と体育館は共有スペースとして利用できる。体育館は、例年、汐入のイオンを会場使用していた、神奈川県健康フェアを開催する予定になっている。そのため、私達も体育館を一部使用できる。例えば、消防局がAEDの講習を希望しているので、そのような団体に使用してもらえる。

座 長：とりあえず今は、材料がないと料理が作れないので、少しでも考えている団体は、手をあげてもらえると良い。

座 長：行政としては、何か出展する予定はあるのか。例えば、地域医療推進課として、着ぐるみの中に入るなどの考えはあるのか。

事務局：事務方として調整に入る必要があるので、裏方のつもりでいる。スカリンに入る必要があれば、用意することもできる。

座 長：日本在宅医療学会などのイベントで見ていると、主催者側がある程度、共通のテーマでまとめていかないと、統一感がなくなる。作りをしっかりとしないと、来場者が何に來たのかわからなくなってしまう。そこだけお願いしたい。

座 長：名称については、(仮称)をとるなど、ここで決めた方が良いか。この名称でよければ仮称をとって、今後はこの名称で進めていきたいと思うが、異存はないか。

他の行政で、過去に地域包括ケアフォーラムの名称で開催している所はあるか。

事務局：全国でみれば、同じ名称で開催している自治体はある。

座 長：同名称となっても問題はないか。「横須賀市地域包括ケアフォーラム」としてなくてよいか。

渡 邊：特に登録などはないので、同じ名称でも問題はないと思う。

横須賀市と付けるかどうかという点だが、出展団体の中には、横須賀市だけでなく、三浦半島単位などの団体もあるため、地域は指定しない方が良いと思われる。

事務局：出展希望については、今後もしできる限り受け付けたいと思っているが、周知などの期限もあるため、7月末までに参加の有無だけでもお知らせいただきたい。内容については後日調整でも良い。

座 長：時間と場所の希望も併せてお知らせした方が良いか。

事務局：時間については、終日や午前・午後などお知らせいただきたい。その他は、希望に沿えるかわからないが、希望があれば、アンケート用紙で回答いただきたい。

アンケート用紙が見当たらなければ、口頭でも構わない。ざっくりとした希望をいただければ、なるべく希望に沿いたいと思う。あとは、全体で調整させていただく。

(4) 第3回全体会議の日程について

構成員内で日程調整を行い、10月29日(火)19:00からの開催が決定した。

(5) その他

横須賀市高齢福祉課の田中課長から、追加資料の「第3回認知症フェスタ in 神奈川歯科大学」について紹介された。(高齢福祉課長から)

今年は第3回で、会場を神奈川歯科大学のキャンパスとしている。一般市民にも広く参加いただけるように親しみやすい内容にし、例年より大規模に企画している。日時は、世界的に「アルツハイマーの日」で9月21日に開催する。

内容としては、まず予防としてのアプローチで、フレイルをテーマに、東京大学の田中友規氏に講演いただく。先着400名の事前予約制としている。

そして共生として、第1部は認知症をテーマに、神奈川歯科大学の眞鍋雄太教授に講演いただく。第2部として、三浦半島地域の認知症に関する取り組みについて、地域のボランティア「認知症フレンドリーよこすか」としてご活躍いただいている、松浦氏と玉井氏に講演いただく。

ミニ講話として、カレーと認知症予防をテーマに、神奈川歯科大学の李昌一氏に講演いただく。

裏面には、出展ブースという形で各関係団体に出展いただいている。

その他、認知症サポーター養成研修やエクササイズとスポーツの体験コーナーも設けている。カフェで実際にお茶やクッキーを食べられ、販売もされる。

〔質問、意見等〕

座 長：こちらも相当な人数の参加を予測しているのか。推定参加人数はどの程度か。

田 中：数百人を想定しており、1,000人近く来場いただけると良い。おそらく500人は超えると思っている。今回は、広報よこすか等で大々的にキャンペーンする予定である。また、関係団体を通じての周知も予定している。

神奈川歯科大学も認知症についてはかなり力を入れており、横須賀市の認知症対策を全面に出して、市民に認知症に興味・関心を持ってもらえるよう、またイベントとして神奈川歯科大学に親しみを持ってもらえるよう、両面からPRしていきたいと考えている。

座 長：広報のチラシは、高齢福祉課にお願いすれば、複数部いただけるのか。

田 中：高齢福祉課にご連絡いただければ、可能な範囲で対応させていただく。印刷されたチラシがなくなれば、カラーコピーで対応させていただく。

座 長：各団体から、啓発・広報にご協力いただければと思う。

7 閉 会 座長の宣言で閉会した。

この後専門部会に分かれて会議を行った。

以上